

東日本大震災で被災した子どもを支える

大学生ボランティアを募集しています



photo by Natsuki Yasuda / studio AFTERMODE

大学生ボランティア養成研修

in 仙台 2015.5.30 / 5.31

※いずれかご都合のよい日程でご参加ください。

東日本大震災で被災した子どもへの支援

研修を主催するチャンス・フォー・チルドレンは、東日本大震災で被災した子どもたちに、塾・予備校・習い事などで使えるクーポンを提供しています。当研修を受けた大学生ボランティアは、その子どもたちに対して、クーポン利用に関するアドバイスを行い、また学習や進路の相談に応じます。

子どもたちとの継続的な関わり

当研修を受けた大学生ボランティアは、毎月被災した子どもたちと電話又は直接訪問して面談を行います。面談の中で、学習や進路等の相談に応じたり、アドバイスをすることで、被災した子どもたちが持つ不安を和らげ、サポートする役割を担います。小学生から高校生の子どもたちが対象となります。

大学生ボランティア養成研修について

◆ 養成研修(5/30、31)のタイムスケジュール

日程	時間	内容	形式
5/30 (土)	10:00~10:20	Chance for Children について	講義
	10:20~11:00	子どもの貧困・教育格差の実状	講義
	11:00~11:50	被災児童の心理状態・支え方	講義
	11:50~12:40	(お昼休憩)	-
5/31 (日)	12:40~14:10	コミュニケーション基礎	実習
	14:10~16:10	ロールプレイング	実習
	16:10~17:10	グループワーク(研修の振り返り)	実習
	17:10~17:30	(閉会式・事務連絡)	-

※同内容の研修を2回実施します。どちらかご都合のよい日程でご参加ください。
※研修内容は、都合により変更する場合がございます。ご了承ください。

専門家の先生による研修・継続的なサポート

約7時間の研修カリキュラムの中で対人関係や被災した子どもとの関わり方に関する知識を学びます。また、2ヶ月に1回専門家の先生方や仲間の大学生に子どもと関わる上での悩みを共有し、助言をもらう場を設けています。このような継続的サポート体制があるため、安心して活動することが出来ます。

研修アドバイザー:

出村 和子(社会福祉法人仙台いのちの電話 理事)

多くの機会に恵まれぬ子どもたちに未来の夢を与えるきっかけを、学生ボランティアの協力で進めているこの活動に敬意を表します。学生さんも、ボランティア精神の真の意味を学び、この機会に別の世界を見るきっかけとなり、子どもたちと若者が共に次代を担い、すばらしい社会を創造できると期待し、この活動を心から応援します。

※本研修プログラムは出村和子先生が監修しています。



◆ 養成研修参加後について

養成研修に参加し、被災した子どもとの面談を行うボランティアとなった大学生を対象に、フレッシューズキャンプ(新入生を対象にしたキャンプ)を開催します。(6/27、28)また、9月にはフォローアップ研修を実施し、発展的なコミュニケーション実習や面談でのアドバイスなど、より実践的なことを学ぶことができます。(養成研修・フォローアップ研修の参加は必須となります)※今年度の面談開始時期は9月を予定しております。



コミュニケーション実習
(養成研修の様子)



大学生同士の
交流キャンプの様子



研修終了後は
実際に子どもと面談

研修内容

- Chance for Childrenについて
Chance for Childrenの理念や活動内容、また大学生ボランティアの役割等について説明します。
- 子どもの貧困、教育格差の実状
日本の子どもの貧困の実状や教育格差について学びます。貧困問題や教育格差について実際の事例を交えながら講義をおこないます。
- 被災児童の心理状態、支え方
災害時の心の反応、遺族の心理、喪失体験による心の動きなど、被災した子どもの心理状態を学び、どのように支えていくべきかを考えます。
- コミュニケーション基礎
対人コミュニケーションにおける基礎的な知識、子どもとコミュニケーションをとるうえで必要となるスキルを学びます。
- ロールプレイング
実際に子どもと面談する場面や電話で会話をする場面を想定し、子どもの役や学生ボランティアの役を演じ、実体験します。
- グループワーク
子どもと関わる際に大切なこと、ブラザー・シスターとしての役割について小グループで意見を出し合い、最後に参加者全員で共有します。

企画概要

- 日時 ▽A日程：2015年5月30日(土) 10:00~17:30
▽B日程：2015年5月31日(日) 10:00~17:30
※A・Bいずれかご都合のよい日程で参加してください。両日参加する必要はございません。なお、研修の内容は同じです。
※9月にフォローアップ研修を実施します。フォローアップ研修への参加は必須となります。
- 場所 ▽A日程：仙台青葉カレッジセンター 603
宮城県仙台市青葉区一番丁2丁目3-10
※JR仙台駅下車 駅西口徒歩7分
▽B日程：仙台市民会館 第三会議室
宮城県仙台市青葉区桜ケ岡公園4-1
※仙台市営バス「定禅寺通経由 交通局・大学病院」行き「仙台市民会館前」下車（JR仙台駅前 29番乗り場より、約15分）
- 講師 佐藤 宏平(山形大学 地域教育文化学部 地域教育文化学科 准教授)
佐藤 利憲(仙台青葉学院短期大学看護学科 講師)
鈴木 平(公益社団法人チャンス・フォー・チルドレン シニアマネージャー)
※出村和子先生には、研修全体の監修をご担当いただいています。
- 対象 被災児童・生徒への支援活動に関心のある大学生・大学院生
- 定員 20名程度(各日)
※応募多数の場合、男女比・学年等を考慮した上で選考いたします。
- 費用 参加費無料
※自宅から研修場所までの往復交通費、昼食費は自己負担となります。
- 主催 公益社団法人チャンス・フォー・チルドレン
宮城県仙台市青葉区本町1丁目13-24 錦ビル7F
- 担当者 鶏徳 佑衣(ケイトク ユイ/当法人ボランティア)

お申し込み

■メールで受付致します【締切:5月15日(金) 19:00】

下記お申込みフォームより必要事項を入力し、送信してください。

●申込フォーム(URL)

<http://goo.gl/forms/l3UPZ1EtLZ>



Q&A

Q 研修はどんな人たちが参加するの？

A 仙台市内にある各大学で学生ボランティアの募集を行っています。当研修には、教育・福祉・心理職を目指す人、子どもと関わるのが好きな人、東日本大震災に対して、自分でも何かやりたいと思う人など様々な目的をもった学生たちが集まります。

Q 研修では何が得られるの？

A 自分のコミュニケーションの取り方、人間関係の築き方などを見つめ直し、子どもの支援をする上で必要とされる知識・スキルを身につけることができます。また、研修は講義・実習から構成されており、知識の習得だけではなく実習を通して学びを深めることができます。

Q 研修を受けないとブラザー・シスターになれないの？

A 研修を受けずにブラザー・シスターになることはできません。研修の内容は、被災をした子どもたち一人ひとりに接して、個別的な支援を行ううえで必要となる知識・スキルを習得するものです。当研修に参加することで、適切な支援活動ができると私たちは考えています。

Q ブラザー・シスターの活動からは何が得られるの？

A 例えば、子どもが自分自身の道を見つけ、新しいステップを踏み出す過程に関わる喜びを感じることができます。またこの活動では、専門家の先生や仲間の大学生と意見交換を定期的に行います。このような様々な人と出会い、意見を交わす機会も、学生時代の貴重な経験となります。

Chance for Children の設立経緯・活動内容

はじまりは阪神・淡路大震災

Chance for Childrenは、阪神・淡路大震災で被災した子どもたちの支援を行ってきた特定非営利活動法人ブレンヒューマンティリーのひとつのプロジェクトとして、2009年に発足しました。そして、2011年3月に発生した東日本大震災に伴い、被災した子どもたちに対しても継続的な支援を行うため、同年6月に独立・法人化しました。

学校外教育クーポンの提供

経済的な理由で塾・予備校・習い事などに行けない子どもたちに、**学校外の教育サービスで利用できるクーポン**を無償提供し、子どもたちの学校外教育機会を保障しています。



学生主体の活動

学生ボランティア約60名で活動を行っています。仙台市内の大学の学生が集まり、子どもの進路・学習の相談にのったり子どもたちを支えるために、チャリティーイベントの企画・実施等を行っています。



公益社団法人チャンス・フォー・チルドレン

お問合せ：022-265-3461 / brosis@cfc.or.jp

■ホームページ、ソーシャルメディアでも情報発信しています!!

- 公式HP
<http://www.cfc.or.jp/>
- Facebook
<http://www.facebook.com/chanceforchildren>
- Twitter
https://twitter.com/bh_cfc